

一人の健康から地球の未来まで

赤塚植物園の

グリーン通信

Green Communication

○○○

2023.秋号

- vol.277 -

チューリップを植えましょう

文/小谷 直之

チューリップは、ユリ科チューリップ属の球根性多年草で、原産地はトルコ。オスマン帝国でもてはやされ、オーストリア大使によってヨーロッパ各地に広まり、トルコ国内のトプカプ宮殿やモスクにはチューリップが描かれたタイルが残っています。大々的な生産地はオランダが有名で、トルコからオランダにチューリップが伝わったのが16世紀頃。日本には江戸時代後期に伝わり、大正時代に本格的に球根栽培が始まったと云われています。



9月に球根を買って紅葉が始まる 晩秋頃に植えるのがオススメ!

園芸店やホームセンターでは9月から店頭に球根が並びます。ただし、買ってすぐ植えるのは禁物です。チューリップに限らず、球根類の根が伸びる適温は10~15°Cぐらいですが、土の温度を測るというのも現実的ではありません。

そこで目安になるのが『紅葉の見頃』。紅葉前線は日本列島を北から南へと南下します。前線各地の見頃がちょうどその地の秋植え球根の植え付け最適時期になります。

ただ、植え付け時期が来た頃には希望の商品が売り切れている可能性もあります。9月下旬までには球根を購入しておくのがおすすめです。購入したら時期が来るまで、風通しが良く温度の低い日陰で保管しておきましょう。



株間と植える深さ

露地植え・鉢植え(プランター)問わず、株間・深さ(地表から)共に「球根2個分」が理想です。

浅い鉢やプランターに植える場合は、深さは球根1個分で球根下に根が張るスペースを確保できれば十分です。

おすすめの用土と肥料

「赤塚培養土」がおすすめです。元肥として「マグアンPK」や球根用などの緩効性肥料を忘れずに施しましょう。

また、チューリップは「連作」を嫌います。鉢植えなら土を新調する、もしくは土壌改良材を使用します。露地植えの場合は場所を変えるか、事前に石灰を施しておきましょう。



植え付け時、球根の向きに注意!

チューリップの球根はタマネギを縦に真っ二つに割ったような形をしています。

先の尖った方が上で、花が出る方向です。葉は、平らな面からとぶつくりと膨らんだ面から交互に出ます。一番最初の大きな葉が出るのは平らな面です。

露地や横長のプランターに植える際は1球ずつ列を変える「千鳥」という植え方がおすすめ。葉が込み合わずに見栄えも良いです。丸型のプランターの場合は、最初の葉が出る球根の平らな面を外側に向けて配置しましょう。



最初の大きな葉は
平らな面から出ます



互い違いに
植えましょう(千鳥)



丸いプランター
平らな面を外側にすると
大きな葉の向きが揃います



植え付け後の管理方法

芽が出る前も水やりを忘れずに！

植え付け後、大事なのは「水やり」です。

特に植え付けた直後、根がしっかりと張るまでの2週間はチューリップにとって、とても大事な時期です。水やりをしっかりと行わないと、折角出た根が乾いて正常な機能が果たせず、春に花が咲かない…ということもあります。

そこでおすすめしているのが、「球根と一緒に花苗を植える」こと。お花が咲いていれば、芽が出ていない時期の水やりも忘れませんよね。

一緒に植えるなら冬の草花の代表格のパンジー・ビオラがおすすめです。ちょうど秋植え球根を植えるのに良い時期(晩秋頃)に店頭に並び始めます。球根植物はたとえ真上に障害物があったとしても避けて芽を出してくれるので、安心して植えていただけます。

置き場所は雨風がしっかりと当たるところを選びましょう。



翌年も花を楽しむための準備

花後の葉は自然に枯れるまで残しておく

お花が終わると青々とした葉をすぐに切ってしまいがちですが、その葉が光合成を行い球根を肥大させ、翌年の芽出し～開花までの養分を蓄えます。そのため、切ってしまうと球根に十分な栄養が蓄えられず、翌年立派なお花を咲かせられません。

球根に十分な栄養が蓄えられると役目を終えたサインとして黄葉化します。それまで大事に残しておきましょう。



お礼肥えを与える

花が終わったらお礼肥えとして「微粉ハイポネックス」を与えましょう。

この「微粉」は球根の肥大を助ける『カリウム』が高い配合になっているので、チューリップの栄養補給に最適です。

500倍に
薄めて
与えます



掘り上げて保存する

全部の葉が黄葉化したら試し堀りをして、球根の外皮が茶色くなり始めていたら、残りの球根を全部掘り上げます。堀り上げたら泥・土を落とし、花茎や根っこも取り除きます。

次の植え付けシーズンまで網ネットに入れ、風通しの良い冷暗所で保管しましょう。



赤塚植物園 アカツカFFCパビリオン

〒514-2293 三重県津市高野尾町1868番地の3 TEL 059-230-2121
営業時間…【平日】10:00～17:00 【土日祝】10:00～18:00 毎週火曜定休

赤塚植物園
公式LINE



公式
Instagram

FFCパビリオン

赤塚植物園

